

令和元年度沖縄南部自然ふれあい行事  
新春野鳥観察会「ムーチャービーサで、ちゅううがなびら」 実施要綱

1. 趣旨

沖縄には、古くから“ムーチャーの日”として、旧暦の12月8日にその年一年の健康祈願としてみんなでムーチャー（餅）を食べる習慣があります。由来は沖縄の昔話にでてくる「鬼を餅で退治した」事からきていますが、ムーチャーの日がある新暦1月は沖縄では最も寒い時期でもあり、この時期を「ムーチャービーサ（鬼餅寒）」と呼んでいます。

また、渡り鳥の中継地として国際的に重要な湿地であることからラムサール条約に登録されている漫湖では、ムーチャービーサの時期は、ちょうど北方から渡ってくる渡り鳥の中でも珍しい種が観察出来る時期です。

本観察会では、ムーチャーを作って食べるなど、ムーチャーづくりを体験してもらうと共に、漫湖に飛来している野鳥の観察会を行うことにより、自然と深く関わる沖縄の文化を体験してもらい、漫湖の自然の豊かさや重要性を伝えます。

2. 共催 環境省沖縄奄美自然環境事務所（沖縄南部自然保護官事務所）  
漫湖水鳥・湿地センター

3. 講師 比嘉 邦昭 氏（沖縄野鳥研究会）

4. 実施日時

- ・と き：令和2年1月12日（日） 10：00－12：30
- ・ところ：漫湖水鳥・湿地センター（豊見城市豊見城982）  
漫湖水鳥・湿地センターに集合・解散。

5. イベントスケジュール

- ①ムーチャーの準備（材料準備～ふかし始めるところまで）
- ②新春野鳥観察会（ムーチャーをふかしている間に実施）
- ③出来上がったムーチャーの配付

6. 募集定員等

- ・対 象 小学生から一般（小学生低学年は必ず保護者同伴）
- ・定 員 20名
- ・参加費 300円（保険料・食費として）

※申込みは先着順で受け付け、定員になり次第締め切らせていただきます。

## 7. 持ち物等

- 服 装 野外で活動できる防寒具、歩きやすい靴
- 持ち物 水筒（飲み物）等の野外で活動するために必要な物。  
筆記用具、エプロン、頭巾、手拭き、合羽（傘は不可）  
（※双眼鏡、図鑑は主催者側で用意します。）

## 8. 申込み・お問い合わせ先

- 漫湖水鳥・湿地センター TEL：098-840-5121  
※雨天の場合、野鳥観察会は室内で実施出来る内容に変更します。（小雨決行）